

平成23年度入学試験問題（後期日程・帰国子女特別入試）

小 論 文

医学部 医学科

注 意 事 項

1. 受験番号は解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

- 1 次の文章は、ニューヨークタイムスに掲載された、*In Spinal-Fluid Test, an Early Warning on Alzheimer's* と題された論説の一部である。この文章を読んで以下の各問に答えなさい。

非公開

(*The New York Times*, August, 2010 より抜粋、一部改変)

註釈 (*)

colonoscopies : 大腸内視鏡

mammograms : 乳房撮影

問1 下線部(1)の **spinal-fluid** はどのようにして採取するのか, 下線部(4)を参考にして100字以内で要約しなさい。

問2 下線部(2)を80字以内で日本語に訳しなさい。

問3 下線部(3)の **difficult question** の意味するところを300字以内で説明しなさい。

問4 下線部(5)を150字以内で日本語に訳しなさい。

2

障がいをもつ子供たちの教育に関する次の文章を読み、各問に答えなさい。

非公開

(後略) (Editorial, Asahi Weekly on July 23, 2010)

- 問1 障がいをもつ子供たちの教育に関する国際的な流れについてその内容を100字以内で要約せよ。
- 問2 下線部(1)について、その内容を200字以内で要約せよ。
- 問3 障がいをもつ子供たちの教育について、どのような教育が望ましいか、あなたの考えを、自身の経験や知識に基づき300字以内で説明せよ。

平成23年度入学試験問題（後期日程・帰国子女特別入試）

小 論 文

医学部 医学科

出題の意図

【1】この小論文の出題の意図は、アルツハイマー病という罹患率の高い疾患を題材として、比較的平易な英文の読解力や文章を要約する力について評価する。また、健康問題や医学に対する関心度についても同時に評価する。

- 問1. 比較的長い英文の読解力、訳文の正確さを評価する。
- 問2. 比較的短い英文の読解力、訳文の正確さを評価する。
- 問3. 比較的長い英文の読解力、要約する力を評価する。さらに、医学的問題に対する関心度、意見をまとめる能力、その妥当性を評価する。
- 問4. 比較的長い英文の読解力、訳文の正確さを評価する。

【2】この社説は、障がいを持つ子供も普通校に進学することが望ましいとする、国連の勧告に基づき、日本政府も、そのように教育を行う方針を決定したが、例外事項を設けたため、逆に障がいを持つ子供たちが普通校で学べない状況がでていることを解説している。英文の読解能力を問うとともに、医療や福祉、障がい者に対する関心や知識を有しているかを問う問題である。

- 問1. 文章を読んで内容を理解し要約する力を評価する。
- 問2. 比較的長い文章を読み、内容を理解できるかどうか、また、理想と現実のギャップについて本文内容を要約し、説明することができるかを評価する。
- 問3. 障がい者に対する関心や知識があるかどうか、また、自身の経験や知識に基づき、自分の考えを論理的に述べることを評価する。